

# 令和2年度 決算報告

天草市の令和2年度の決算がまとまりました。  
 どのようなお金が入ってきて、どんな事業に使ったのか。また、これらの数字から市の財政事情はどうかを見ていきます。  
 ※金額と構成比、増減額は表示単位未満を四捨五入しています。  
 図財政課 ☎27-5053

令和2年度の一般会計の決算は、歳入が前年度と比較して64.7億円(10.7%)の増で670.7億円、歳出が45.7億円(7.8%)の増で635.7億円となりました。歳入から歳出を差し引いた形式収支は35.0億円、この額から翌年度に繰り越すべき財源を差し引いた実質収支は29.5億円の黒字となりました。

**歳出総額 635.7億円**  
 (対前年度比 7.8%増)

歳出のトップは補助費等

歳出決算額を性質別にみると、扶助費などの義務的経費が259.4億円(40.8%)、補助費等などのその他の経費が306.2億円(48.2%)、普通建設事業費などの投資的経費が70.0億円(11.0%)となりました。

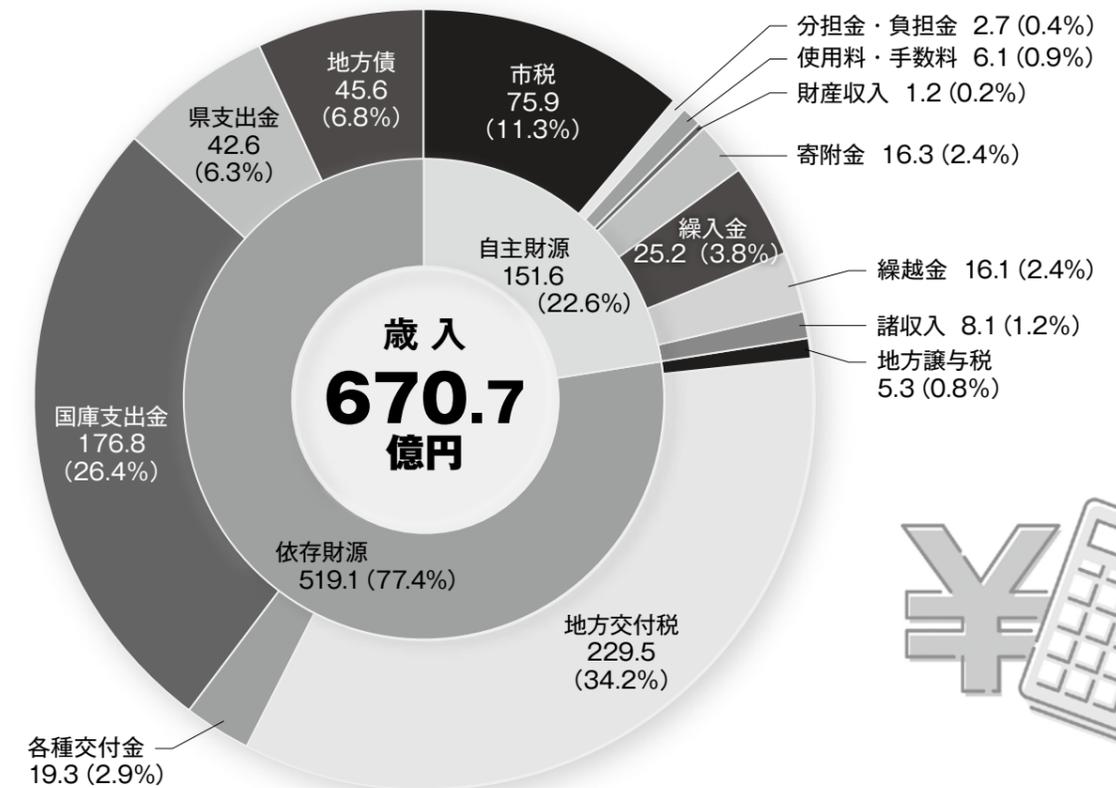
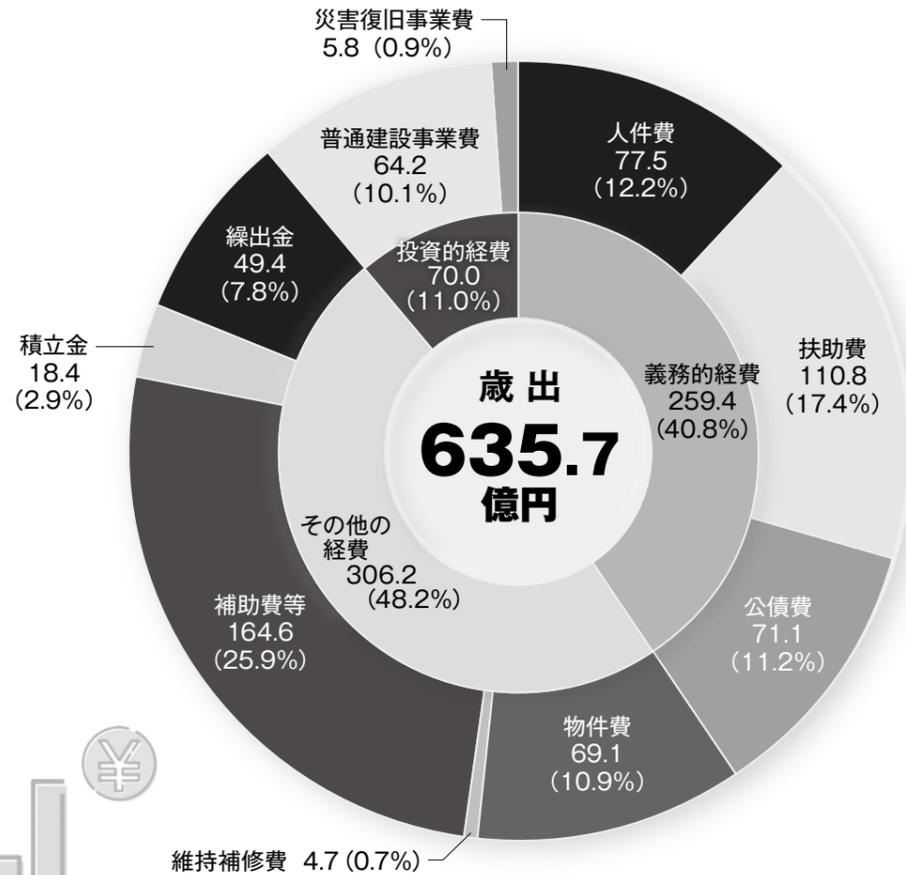
**歳入総額 670.7億円**  
 (対前年度比 10.7%増)

歳入の約77%が依存財源

歳入決算額を財源別にみると、市税などの自主財源が151.6億円(22.6%)、地方交付税や国・県支出金などの依存財源が519.1億円(77.4%)となりました。

## 【性質別のお金の使い道】

- **扶助費**  
生活困窮者、子ども、高齢者、障がい者などを援助する費用。
- **公債費**  
国や銀行などから借り入れたお金の返済に使用。
- **物件費**  
旅費や物品の購入費、委託料、賃借料など消費的な性質に使用。
- **補助費等**  
広域連合(消防やごみ処理)に対する負担金や水道・下水道・病院事業への補助金など。
- **繰出金**  
特別会計へ援助する費用。
- **普通建設事業費**  
道路や橋りょう、漁港、観光施設や学校などの公共施設の整備に使用。



(単位:億円)  
 ※金額や構成比の合計と内訳は、表示単位未満を四捨五入しているため必ずしも一致しません。

区分	収入	支出	
水道	収益的収支	26億3,363万円	23億9,433万円
	資本的収支	2億9,212万円	13億9,950万円
下水道	収益的収支	19億3,450万円	17億8,659万円
	資本的収支	4億9,037万円	11億6,121万円
病院	収益的収支	49億7,837万円	38億5,573万円
	資本的収支	6億1,729万円	8億1,172万円

## 企業会計の決算状況

企業会計は、商店や会社などの民間企業と同じように、その事業で得た収入をもって支出をする独立採算制の会計で、地方公営企業法により設置するものです。

区分	収入	支出
国民健康保険	124億 660万円	120億7,861万円
介護保険	120億 647万円	115億7,735万円
後期高齢者医療	13億1,214万円	13億1,015万円
浄化槽市町村整備推進事業	1億 898万円	1億 887万円
国民健康保険診療施設	2億5,163万円	2億2,515万円
歯科診療所	5,258万円	4,506万円
斎場事業	8億7,326万円	8億6,603万円

## 特別会計の決算状況

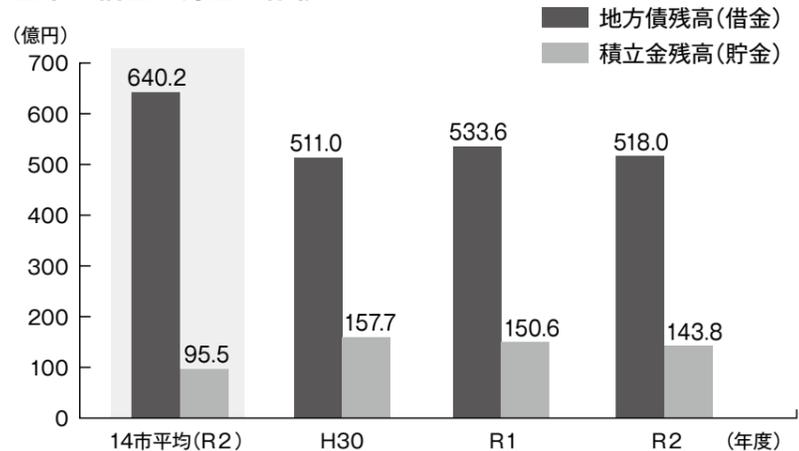
特定の事業を行う場合に、一般会計と区別して会計処理をしたほうが望ましいときに特別会計を設けています。



## 天草市の 財政状況

市の財政状況の良し悪しは、1つのものさしだけでは測れません。さまざまな指標を県内14市の平均値やこれまでの推移と比較しながら見ていきましょう。

### 市の借金と貯金の推移



#### ●地方債（市の借金）

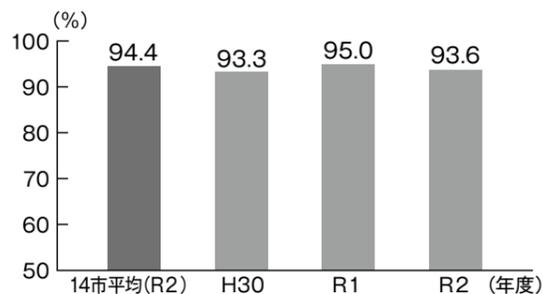
財政運営の基本方針として、借入額は元金返済額を超えないようにしているため、前年度から15.6億円減少しました。5年間では16.0億円減少しています。

#### ●積立金（市の貯金）

普通交付税の減収に伴う取り崩しや借金の返済に対して計画的に取り崩したため、6.8億円減少しました。

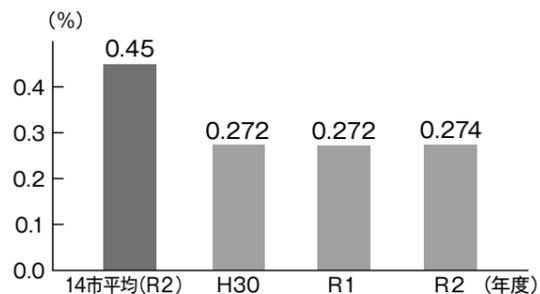
### 経常収支比率

市税や普通交付税など経常的に入ってくるお金を、社会保障費や人件費など経常にかかる経費にどのくらい使っているかを見る指標です。この比率が高いほど財源に余裕がないことになり、前年度より1.4ポイント改善しました。



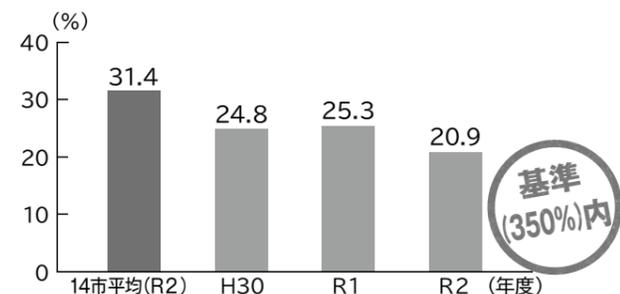
### 財政力指数

標準的な行政活動を行うために必要な財源を、自力でどの程度調達できるかを見る指標です。指数が小さいほど財政力が弱く、交付税や補助金などに頼っていることを示します。



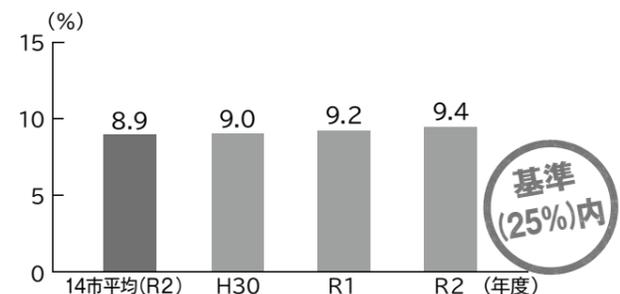
### 将来負担比率

借金の返済や職員の退職金など、将来支払わなければならない負債が、収入に対してどの程度かを示す指標で、前年度より4.4ポイント減少しました。この割合が高くなるほど、将来財政を圧迫する可能性が高いということになります。



### 実質公債費比率

収入に対する一般会計などの借金の返済の割合を見るものです。この割合が高くなるほど資金繰りが悪くなっていることになります。18%を超えると、借金をするときには国の許可が必要になります。

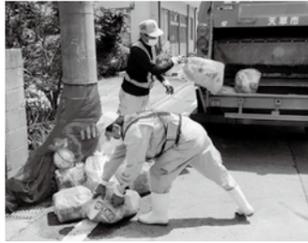


## 市の予算はこんなことに使いました

一般会計の歳出を市民1人当たりで換算すると、年間で82万1,526円（R3.3.31現在の人口で計算）。市税の収入は、1人当たり9万8,126円ですから、不足する72万3,400円は地方交付税や国・県からの支出金などで補っていることになります。



項目	民生費	総務費	公債費
決算額	249億8,181万円	102億6,887万円	71億1,451万円
市民1人当たり	32万2,855円	13万2,710円	9万1,945円
決算に占める割合	39.3%	16.2%	11.2%
主な事業	高齢者、障がい者、児童の福祉推進などに 	総務・財産管理、企画調整、地域振興、税務事務などに 	施設整備などで借りたお金の返済に 

項目	衛生費	教育費	土木費
決算額	59億7,625万円	38億9,797万円	36億3,111万円
市民1人当たり	7万7,234円	5万3,376円	4万6,927円
決算に占める割合	9.4%	6.1%	5.7%
主な事業	健康増進事業やごみ、し尿処理などの環境保全に 	学校の運営管理やスクールバスの運行、施設整備などに 	道路、河川、公園、市営住宅の整備などに 

項目	商工費	農林水産業費	その他の経費
決算額	25億6,736万円	23億1,746万円	28億1,271万円
市民1人当たり	3万3,179円	2万9,950円	3万6,350円
決算に占める割合	4.0%	3.7%	4.4%
主な事業	商工業、観光の振興、観光施設の整備などに 	農業、林業、水産業の振興などに 	消防、議会運営、災害復旧費などに 